



会長 菅原 慶一  
 幹事 小野寺 伸浩  
 会報 高田 次雄 村上 武彦  
 森田 峯男  
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327  
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30  
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

## 第2692回例会 2019. 5. 16 No.41

### 本日の出席率

・本日の出席率 90.38%

### ニコニコボックス

- ・菅原慶一会長 次年度の年間プログラムの原紙がまわってきました。宜しくお願ひします。關孝会員のスピーチに期待します。
- ・關孝会員 初めてのスピーチに緊張しております。よろしくお願ひ致します。
- ・布施孝之会員 關孝会員の初スピーチに期待します。
- ・飯塚仁哉会員 關孝会員には初めてのスピーチで興味津津です。楽しみにしております。
- ・佐藤幸一会員 關孝会員のスピーチにご期待いたします。
- ・江川元徳会員 5月なのにまだ寒い日があります。皆様健康第一でROTARYの奉仕に。
- ・八谷郁夫会員 關孝会員のスピーチ楽しみです。
- ・阿部泰彦会員 關孝会員のスピーチに期待して。登米市入札制度システムの適正化改革改善を懇願いたします。再三に亘り要望していますが、行政サイドの反応はなしです。
- ・菅野幸一郎会員 關孝会員のスピーチにご期待致します。
- ・菅原文之会員 關孝会員のスピーチに期待して。
- ・伊藤幸子会員 本日の關孝会員のスピーチ楽しみにしています。いろいろな話題が聞けるのですね。
- ・二階堂恭子会員 今日のスピーチ、關孝会員、スピーチの課題はすごく楽しみです。
- ・小野寺伸浩幹事以下 本日のスピーチに期待して。  
 村上武彦会員 佐々木崇会員 千葉吉男会員  
 氏家良典会員 佐竹孝行会員 遠藤光則会員  
 猪股育夫会員 佐々木源悦会員 高橋利光会員  
 布施孝尚会員 山田正会員 富士原裕子会員

武川毅会員 及川昭宏会員 杉田広仁会員  
 佐藤早智子会員 千葉正宏会員  
 以上、ありがとうございます。

### 会長要件 菅原慶一会長

日に日に鮮やかになってゆく緑の木々と、草花の葉っぱが眩しい今日この頃です。風も気温も丁度よく、自然と外に出ていきたくなる気分です。令和に代わり、米中の経済摩擦がさらに過熱し、景気も下降気味で、北朝鮮がまたミサイルの発射を再開しと、国内的にも世界的にもあまりいい話は聞こえてきませんが、我々は目の前の一日一日を大事にして過ごしていきたいものだと思います。

5月14日(火)に市外ではありますが、伊藤幸子会員の紹介で美里町のグループホーム「まりちゃんの家」で翔乃流の方たちと一緒に慰問活動をしてまいりました。参加者は布施孝尚社会奉仕委員長を中心に、司会業が板についた感のある遠藤光則会員、常に手本とされる教則本のような佐藤早智子会員、紹介者の伊藤幸子会員、会場の雰囲気盛り上げていただいている岩渕正彦、岩渕栄市の両会員と私です。靱帯を伸ばして踊れなかったことから高橋利光団長は参加できませんでしたが、今回も施設の入居者の方からたくさんの拍手と笑顔をいただけてまいりました。中には一緒に踊ろうとしてくれる入居者の方などいて、たいへん和やかな楽しい雰囲気でした。社会に奉仕するといった点においてはいろんな方法があると思いますが、これもその一環だなと感じてきました。

今日は、慰問の踊りにも一緒に練習に参加され、舞踊で親睦会を盛り立てていただいております關孝会員の初スピーチです。お話に期待しています。

### 幹事報告 小野寺伸浩幹事

・伊丹有明RCより、会報が届く

### 今週のスピーチ

#### 關 孝会員

佐沼ロータリークラブに一昨年の11月に入会させていただきましてから、初めてのスピーチでございます。

私は農家として、たんぼの方はお陰様で天候が良くてこの様に真っ黒になっております。

今はまず皆様方に私の家の成り立ちなどをお伝えして身近になっていただきながら、次の部分では登米市出身の人物を2人ほど取り上げてみたいと思います。あとは時間をみながら宮城県から見た登米市の位置ということで、登米市の統計書の中から登米市が現在宮城県の中でどういった位置にあるのか少しお知らせをしながら登米市を改めて再認識していただければ良いのかなと思っております。

私の家のルーツは、旧墓を見ますと元禄7年(1694年)になくなったというお墓がございます。およそ今から320数年前になりますが、それだけの長い間営みをしているのかなと思っております。又、天正19年(1591年)、今から427~8年前には佐沼で戦があり、佐沼の城を伊達政宗が攻め滅ぼした訳であります。その時に伊達政宗軍がごはん炊きをした場所ということで、兵糧山という名前の地名がありますが、私の住んでいる所は地糧という所です。同じ様に天正19年の戦の時に炊事をして兵士に食べ物を準備をしたというような場所です。

私からみて10代前に關忠兵衛というご先祖がおられるわけですが、墓石に佐沼津田家の7代津田丹波定康家中という記載がございますので、おそらく佐沼の津田家にお仕えをしておったのかと思っております。しかしながら立派な力を持った侍というようなことではなく、在郷屋敷でありますから家中といいながら、たんぼを作って一生懸命食べるものを作った家来であったのではないかと思っております。

それから大きな事件がありまして、宝暦6年の年でありますけれども、1756年に佐沼の殿様であった津田民部定康が、仙台藩伊達綱村、当時15歳の殿様でしたが、殿様の意にそぐわないということで、要所領を没収される出来事がありました。その際に津田家の家中であったうちでも、早く家を明け渡してどこかに行くよう命令が下り、宝暦7年1月には高清水から亘理氏が入り、うちの先祖はそこに居られなくなって大変な思いをした事実がございます。

古いうちではありますが、浮き沈みと言うことである時期にさっぱりと財産を処分してどこかに引っ込んでしまった方がいて、古文書等ありませんが、一つだけ残っております。それは、宝暦12年。私から見て7代前の人が殿様に願ひ上げをした文章であります。要約しますと「当月の5日までに屋敷を立ち退くことは、西風が非常に強く寒い屋敷なので、何とか暖くなる来年の2月までその場所に置いてもらえないか」「旧主人の代から關という名字を使っていたので、な

んとか關という名字をこれからも使わせてもらえないか」という2つの願ひをした文章です。殿様に渡したものが何故手前にあるかというのは定かではありませんが、今と違って家を明け渡さなければならないという事態に先祖がなった時、どの様な思いをして過ごしたのかと思いを馳せております。

その後、現在の長沼工業団地、トヨタさんのすぐそばの所に一時仮住まいをし、おだやかな時代になってまた昔の所に戻って来たというようなことです。

私は昭和44年(1969年)1月4日、現在の登米市市民病院で生まれました。北方幼稚園、北方小学校、佐沼中学校と通い、佐沼高等学校に入りました。2年生の時の昭和60年6月に町政施行30周年があり、その時NHKのど自慢が迫町民体育館であり、歌は上手ではありませんでしたが、高校生が会場したら、もしかしてテレビに出るのではないかと思ひ予選に申し込みましたら、本選に出ることになり25人中24番目で歌わせていただきました。当時の鐘一つでしたが、これも良い思い出の一つとなっております。

卒業後、佐沼印刷センターに入社し、機械のオペレーター、営業をさせていただきました。併せて青年会活動に入らせていただき、長沼花火大会には第1回目から昨年の30回まで実行委員として係わっております。

私の職業分類は農業となっております。経営面積は水稲230アール(2町3反)、そのうち受託は約8反、国の政策の中で転作をやらなければならないので、5反転作で蕎麦を植えております。信州の高地で栽培されているタカネルビーという品種で真っ赤な蕎麦です。秋になりますと収穫し、仲間と蕎麦屋に持ち込んでおいしくいただいております。米のおいしい所で作った蕎麦は間違いなくおいしく、季節限定で皆さんで喜んでいただいております。現在、北方で観音セリが旬を迎えております。市の方で伝統野菜復活プロジェクトということで、このプロジェクトにも参加させていただいております。

様々なところで、いろんなことをやらせていただいております。これもひとえに皆様のお陰と思っております。

登米市の人物(産業に係わる先人の紹介)

- ・沼倉吉兵衛(1859-1943年)登米市生まれ  
 仙台白菜の生みの親と言われております。宮城農学校(現宮城県農業高等学校)や仙台市養種園に勤務して農業の発展に尽力された方です。
- ・大槻洋四郎(1901-1981年)鹿島台村生まれ  
 鎌田三之助(元鹿島台村長)の四男。宮城県水産高校、北海道帝国大学水産専門部で学ぶ。昭和3年、登米町の大槻茂(元宮城県議会副議長)の養子となる。昭和4年中国・関東州庁水産試験場に勤務。ワカメとコンブの種苗を取り寄せ養殖の研究を続ける。

— 登米市の人物2人について、宮城県から見た登米市の位置については、資料をご参照下さい。